

令和2年度事業報告

1 評議員会、理事会等の開催

(1) 評議員会

① 第1回

時期 令和2年6月5日

参加者 大山評議員、平田評議員、足羽評議員、岸田評議員、市川評議員
下垣評議員

議題 平成31年度(2019年度)事業報告及び決算 ほか

② 第2回

時期 令和3年1月28日(書面評決)

新型コロナウイルスの感染拡大により、書面による決議の省略
(全評議員の同意による決議)を行い、評議員会の決議があった
とみなされた日

参加者 大山評議員、平田評議員、足羽評議員、岸田評議員、市川評議員、
下垣評議員、青砥評議員

議題 定款の一部改正 ほか

③ 第3回

時期 令和3年3月18日

参加者 大山評議員、平田評議員、足羽評議員、岸田評議員、市川評議員、
下垣評議員

議題 令和2年度事業計画の変更及び補正予算、令和3年度事業計画及
び収支予算、債権の放棄 ほか

(2) 理事会

① 第1回

時期 令和2年年5月18日

参加者 山根会長、谷村理事、福永理事、田中理事、黒田理事、善波理事
安養寺監事、竹内監事

議題 平成31年度(2019年度)事業報告及び決算、評議員会の開催、
組織のあり方に係る検討報告 ほか

② 第2回

時期 令和2年年10月12日

参加者 山根会長、福永理事、田中理事、黒田理事、善波理事
安養寺監事、竹内監事

議題 鳥取県身体障害者福祉協会会長表彰被表彰者、組織のあり方に係る
検討報告、今後の市町分担金、第46回中・四国身体障害者福祉
大会収支予算 ほか

- ③ 第3回
 時期 令和3年1月14日(書面評決)
 新型コロナウイルスの感染拡大により、書面による決議の省略
 (全理事の同意及び全監事の確認による決議)を行い、理事会の
 決議があったとみなされた日
 参加者 山根会長、福永理事、田中理事、黒田理事、善波理事、谷村理事
 安養寺監事、竹内監事
 議題 定款の一部改正、評議員会の開催 ほか

- ④ 第4回
 時期 令和3年3月2日
 参加者 山根会長、福永理事、田中理事、黒田理事、善波理事、谷村理事
 安養寺監事、竹内監事
 議題 令和2年度事業計画の変更及び補正予算、令和3年度事業計画及
 び収支予算、債権の放棄、経理規程の一部改正、評議員会の開催
 ほか

(3) 正副会長会

- ① 第1回開催日 令和2年 5月 8日
 ② 第2回開催日 令和2年 6月 2日
 ③ 第3回開催日 令和2年 8月19日
 ④ 第4回開催日 令和2年10月 1日
 ⑤ 第5回開催日 令和2年12月25日
 ⑥ 第6回開催日 令和3年 2月24日

(4) 活性化検討委員会

- ① 第1回
 時期 令和2年8月27日
 参加者 安養寺委員、竹内委員、足羽委員、石井委員、田邊委員、
 山根会長、田中副会長
 議題 組織のあり方に係る検討報告(最終報告)、今後の分担金(会費)
 の見直し ほか

(5) 組織のあり方に係る各市町協会との意見交換会

- ① 東部
 時期 令和2年12月 2日
 参加者 計26名
 議題 組織のあり方に係る検討報告(最終報告) 今後の市町分担金(会
 費)、第46回中・四国身体障害者福祉大会 ほか
- ② 中部
 時期 令和2年12月 8日
 参加者 計16名
 議題 組織のあり方に係る検討報告(最終報告) 今後の市町分担金

(会費)、第46回中・四国身体障害者福祉大会 ほか

③ 西部

時期 令和2年12月15日

参加者 計16名

議題 組織のあり方に係る検討報告(最終報告)今後の市町分担金
(会費)、第46回中・四国身体障害者福祉大会 ほか

2 身体障がい者福祉大会

(1) 第61回鳥取県身体障がい者福祉大会

日時 令和2年11月6日(金)

場所 さなめホール(米子市淀江文化センター)

参加者 約180名

内容 ○ 鳥取県身体障害者福祉協会長表彰 計12名
自立更生4名、役員功労8名

○ 講演

① 講師: トータルヘルスコーチ・ヨガ講師 浦富 靖子 氏
演題: 誰もが輝く人生を送ることができる

② 講師: 鳥取県障がい福祉課長 藤田 博美 氏
演題: 鳥取県における障がい福祉施策

○ 議事: 提出議案説明、大会宣言採択、大会決議採択

(2) 中・四国身体障害者福祉大会

(全国大会が広島県で開催される予定だったため、開催はなし)

(3) 第65回日本身体障害者福祉大会 ひろしま大会

令和2年6月4日に、広島県立総合体育館大アリーナで開催予定であったが、
新型コロナウイルスの感染拡大により中止となった。表彰は郵送により授与
表彰者 鳥取県 福永幸男氏

3 スポーツ大会

(1) 第58回鳥取県身体障がい者体育大会

令和2年9月25日に、米子市民体育館で開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止とした。

(2) 地区スポーツ大会

各地区で随時開催(実施団体: 11団体、中止団体: 10団体)

(3) 第12回鳥取県障がい者グラウンドゴルフ大会

日時 令和2年10月18日(日)

場所 潮風の丘とまり グラウンドゴルフ場

参加者 86名

成績(新型コロナウイルス感染予防対策のため、2グループに分けて実施)

【Aグループ順位】

- 1位 竹内 良一氏 (八頭町)
- 2位 小濱 祥照氏 (北栄町)
- 3位 横山 猛氏 (ブルースカイ)

【Bグループ順位】

- 1位 山田 恭範氏 (湯梨浜町)
- 2位 木原 悦子氏 (八頭町)
- 3位 足羽 賢治氏 (倉吉市)

4 生活訓練事業

- (1) 日常生活訓練事業 (鳥取県身体障害者福祉協会)

令和3年2月25日に、はわいアロハホールで開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止。

- (2) 日常生活訓練事業 (鳥取県腎友会)

新型コロナウイルスの感染拡大により中止。

- (3) オストメイト日常生活訓練事業 (日本オストミー協会鳥取県支部)

新型コロナウイルスの感染拡大により、事業規模を縮小して実施。

- (4) 聴覚障害者日常生活訓練事業 (鳥取県聴覚障害者協会)

新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底して、聴覚障害者の日常生活訓練事業を予定通り実施。

- (5) 在宅重度障害者社会参加促進事業 (日本筋ジストロフィー協会鳥取県支部)

新型コロナウイルスの感染拡大により中止。

- (6) 音声機能障害者発声訓練・指導者養成事業 (鳥取県清音会)

新型コロナウイルスの感染拡大により、事業規模を縮小して実施。

5 身体障害者相談員支援体制強化事業

- (1) 第22回中・四国ブロック身体障害者相談員研修会

令和2年10月8日に、徳島県で開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大により開催延期(令和3年度開催)となった。

- (2) 鳥取県身体障害者相談員研修会

日時 令和2年7月3日(金)

場所 倉吉体育文化会館

参加者

鳥取県身体障害者相談員 40名

市町村行政職員 5名

県障がい福祉課 2名

研修内容

(新型コロナウイルスの感染拡大により講師が来鳥できなかったため、急遽、研修内容を一部変更した。)

事例発表 テーマ：相談員が実践した相談事例

発表者：鳥取市身体障害者相談員 奥田春寿 氏

倉吉市身体障害者相談員 福永幸男 氏

大山町身体障害者相談員 薩摩義勝 氏

助言者：鳥取県身体障害者相談員連絡協議会会長 山根裕 氏

総括助言説明 テーマ：相談の対応の仕方

説明者：鳥取県身体障害者相談員連絡協議会会長 山根裕 氏

6 鳥取県障害者社会参加推進センター設置事業

障がい者の地域における「自立と社会参加」を促進するため、三障害（身体、知的、精神）を対象とした事業を検討、展開した。

(1) 鳥取県障害者社会参加推進協議会の開催

日時 令和3年3月10日(水)

場所 県民ふれあい会館

参加者 17名

(2) 鳥取県障がい者作品展示会

①開催期日及び場所

東部 令和2年12月04日(金)～12月07日(月) イオン鳥取店

中部 令和2年11月27日(金)～11月30日(月) パープルタウン

西部 令和2年12月11日(金)～12月14日(月) 米子しんまち天満屋

②出品部門及び出品作品数

【出品部門】 絵画、版画、書、写真、民芸美術工芸品、手芸品、編み物

【展示作品数】 東部 34点、中部 60点、西部 54点

③来場者

合計 約1,560名

東部 約870名

中部 約300名

西部 約390名

(3) 障がい当事者による障がい者理解公開講座

障がい当事者等が企業・団体等に出向き、障がい者の暮らしの状況、接し方、障がいの特性などを説明し、障がい者に対する理解を深めていただくため、「障がい当事者による障がい者理解公開講座」を実施した。

○ 企業・団体等への周知

大同警備保障、若桜鉄道、鳥取県観光事業団、鳥取県文化振興財団、鳥取県観光連盟、皆生温泉旅館組合、旅館・ホテル等の17事業所・団体等を個別訪問し周知した。

○ 講座の開催

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により 開催を予定していた企業の実施の延期などがあり、今年度は次の1団体で講座を開催した。

実施企業 鳥取県教育文化財団（鳥取市）

実施時期 令和2年11月27日(金)
講座参加者 5名
講師 身体障がい者(車椅子利用)、知的障がい者(当事者と家族)
精神障がい者(当事者と家族)

(4) 障害者による書道・写真全国コンテストのとりまとめの実施

毎年実施される「障害者による書道・写真全国コンテスト」の応募とりまとめ協力機関として、県下の障がい者の書道・写真作品を募集・とりまとめの上、実施機関である全国障害者総合福祉センターへ送付した。

今年度は、鳥取県からの入賞者はいなかった。

【コンテストの概要】

<募集期間>令和2年9月から10月末日

<応募状況>

全国応募状況 1,046点

(書道部門821点、写真部門225点(内 携帯フォト部門66点))

鳥取県応募状況

鳥取医療センター

書道1点

(5) 広報紙「ぴよんぴよん鳥取第15号」の発行

(6) 鳥取県障がい者グラウンドゴルフ大会への助成(スポーツ大会:再掲)

7 国・県等への要望活動

国等への要望書の提出(中四国で協議、日身連を通して)

県議会各党への予算、制度等の要望等

8 広報活動

- (1) 広報紙「青空」の発行 年1回
- (2) 日身連機関紙「日身連」の配布 月1回
- (3) 報道機関への情報提供 随時(トピックの都度)
- (4) HPによる情報発信
- (5) 協会パンフレットを活用したPR
- (6) 「ぴよんぴよん鳥取」の発行(センター事業:再掲)

9 自主財源の確保

- (1) 賛助会員の確保
- (2) 日身連収益事業所が行う物品斡旋手数料
- (3) 麺製品等の販売斡旋促進による手数料
- (4) 自動販売機の設置
清涼飲料水の自動販売機設置による財源確保
- (5) JRジパング倶楽部(特別会員)入会・更新の斡旋
- (6) その他